

2022年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年7月11日

東・名

上場会社名 株式会社進和 上場取引所
 コード番号 7607 URL <https://www.shinwa-jpn.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 根本哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 三輪誠司 (TEL) 052-796-2533
 四半期報告書提出予定日 2022年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第3四半期の連結業績 (2021年9月1日~2022年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	55,215	25.5	4,544	60.9	4,724	63.0	3,193	65.5
2021年8月期第3四半期	43,981	△16.2	2,823	△20.4	2,898	△16.5	1,929	△19.4

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 4,141百万円(70.1%) 2021年8月期第3四半期 2,434百万円(9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	239.06	—
2021年8月期第3四半期	144.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第3四半期	61,792	35,144	56.7
2021年8月期	56,905	31,951	56.0

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 35,013百万円 2021年8月期 31,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	35.00	—	37.00	72.00
2022年8月期	—	37.00	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	—	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年8月期の連結業績予想 (2021年9月1日~2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	16.1	5,400	34.9	5,600	35.2	3,800	37.3	284.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期3Q	14,415,319株	2021年8月期	14,415,319株
② 期末自己株式数	2022年8月期3Q	1,051,209株	2021年8月期	1,065,104株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期3Q	13,359,004株	2021年8月期3Q	13,345,430株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及などにより、持ち直しの動きが見られたものの、ロシアのウクライナ侵攻の影響による資源価格の高騰や米国の利上げによる急激な為替変動などにより、依然として先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主要ユーザーである自動車業界におきましては、コロナ禍から回復基調ではあるものの、世界的な半導体不足の長期化や部品の調達難が継続しており、生産調整の影響が懸念されております。設備投資については、日本国内では厳しい状況が続きましたが、海外では中国を中心に総じて堅調に推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループにおきましては、中国市場の大型案件については活動制限の影響を最小限にとどめるよう現地工事に取り組むなど、受注済みの大型プロジェクトを着実に推し進め、海外事業の拡大を図りました。また、今後急拡大が見込まれる車載電池市場のニーズに対応するため電池部品開発課を設置し、新たな収益基盤となる新規ビジネスの創出に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は552億15百万円（前年同期比25.5%増）、経常利益は47億24百万円（前年同期比63.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億93百万円（前年同期比65.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①日本

主に日系自動車部品メーカー向けに溶接設備・材料の売上が増加したことや中国の半導体・エレクトロニクスデバイスメーカー向けに自社製品の精密塗布装置の売上が大きく伸長したことにより、売上高は420億17百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は25億48百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

②米国

メキシコや米国の日系自動車メーカー向け生産管理システムの売上を計上したことや日系自動車メーカー・同部品メーカー向けに溶接材料の売上が堅調に推移したことなどにより、売上高は48億円（前年同期比31.1%増）、セグメント利益は2億58百万円（前年同期比196.9%増）となりました。

③東南アジア

タイでは日系自動車メーカー向けおよび日系空調機器メーカー向け生産設備の売上を計上したことや、インドネシアでは日系自動車メーカー向けに溶接設備・材料の売上が伸長したことなどにより、売上高は33億7百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は3億82百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

④中国

日系自動車メーカー向けに生産工場の能力増強に伴う生産設備の売上が計上できたことなどにより、売上高は124億75百万円（前年同期比118.6%増）、セグメント利益は14億30百万円（前年同期比162.3%増）となりました。

⑤その他

チェコの日系自動車メーカー向けに生産管理システムの売上等を計上しましたが、売上高は3億94百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は29百万円（前年同期比48.6%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、617億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億86百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ39億14百万円増加し、514億70百万円となりました。これは主に商品及び製品が8億8百万円、原材料及び貯蔵品が2億2百万円、前渡金の減少等により流動資産のその他が4億21百万円減少しましたが、現金及び預金が31億44百万円、受取手形及び売掛金が7億72百万円、電子記録債権が6億98百万円、仕掛品が7億29百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ9億71百万円増加し、103億21百万円となりました。これは主に有形固定資産が3億59百万円、無形固定資産が5億1百万円、投資その他の資産の投資有価証券が1億14百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ16億11百万円増加し、255億1百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が9億93百万円、電子記録債務が3億26百万円、短期借入金が11億97百万円、引当金が1億87百万円減少しましたが、未払法人税等が3億22百万円、前受金が33億8百万円、未払消費税等の増加等により流動負債のその他が6億86百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、11億45百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ31億93百万円増加し、351億44百万円となりました。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.0%から0.7ポイント上昇し56.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月11日に公表した連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年7月11日)公表の「2022年8月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,879,840	18,024,658
受取手形及び売掛金	10,325,109	11,097,742
電子記録債権	5,688,652	6,387,525
商品及び製品	10,749,453	9,941,443
仕掛品	1,777,287	2,506,615
原材料及び貯蔵品	929,745	727,408
その他	3,209,892	2,788,775
貸倒引当金	△3,863	△3,750
流動資産合計	47,556,118	51,470,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,075,390	2,014,546
その他(純額)	4,447,625	4,867,647
有形固定資産合計	6,523,016	6,882,193
無形固定資産		
のれん	47,821	33,475
その他	388,601	904,111
無形固定資産合計	436,423	937,586
投資その他の資産		
投資有価証券	2,063,807	2,178,630
その他	328,258	325,020
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	2,390,290	2,501,876
固定資産合計	9,349,730	10,321,657
資産合計	56,905,848	61,792,076
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,546,694	9,553,550
電子記録債務	3,649,457	3,323,344
短期借入金	1,197,700	—
1年内返済予定の長期借入金	19,992	18,406
未払法人税等	525,017	847,193
前受金	6,752,169	10,060,574
引当金	302,989	115,810
その他	896,452	1,582,842
流動負債合計	23,890,473	25,501,722
固定負債		
長期借入金	13,408	—
退職給付に係る負債	32,241	32,167
その他	1,018,517	1,113,456
固定負債合計	1,064,166	1,145,624
負債合計	24,954,640	26,647,346

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,106	951,106
資本剰余金	1,676,950	1,695,421
利益剰余金	29,908,859	32,113,998
自己株式	△801,250	△791,102
株主資本合計	31,735,665	33,969,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,531	457,325
繰延ヘッジ損益	△3,026	△43,445
土地再評価差額金	△641,184	△641,184
為替換算調整勘定	372,418	1,271,189
その他の包括利益累計額合計	105,739	1,043,885
非支配株主持分	109,802	131,419
純資産合計	31,951,207	35,144,729
負債純資産合計	56,905,848	61,792,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)
売上高	43,981,641	55,215,827
売上原価	36,452,563	45,562,661
売上総利益	7,529,078	9,653,165
販売費及び一般管理費	4,705,626	5,108,867
営業利益	2,823,452	4,544,298
営業外収益		
受取利息	12,774	26,160
受取配当金	16,934	19,839
為替差益	—	102,100
受取賃貸料	32,120	27,355
その他	58,093	52,976
営業外収益合計	119,923	228,432
営業外費用		
支払利息	10,484	23,487
為替差損	25,968	—
支払補償費	—	23,001
その他	8,764	1,689
営業外費用合計	45,217	48,178
経常利益	2,898,157	4,724,552
特別利益		
固定資産売却益	2,437	1,409
特別利益合計	2,437	1,409
特別損失		
固定資産除売却損	10,224	4,613
投資有価証券売却損	1,997	—
特別損失合計	12,222	4,613
税金等調整前四半期純利益	2,888,372	4,721,348
法人税、住民税及び事業税	1,013,692	1,450,437
法人税等調整額	△66,407	67,904
法人税等合計	947,285	1,518,342
四半期純利益	1,941,087	3,203,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,104	9,435
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,929,983	3,193,570

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	1,941,087	3,203,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,920	79,794
繰延ヘッジ損益	△10,310	△40,418
為替換算調整勘定	408,822	898,770
その他の包括利益合計	493,431	938,146
四半期包括利益	2,434,519	4,141,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,413,870	4,116,904
非支配株主に係る四半期包括利益	20,648	24,248

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当会計基準等の適用による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりです。

・顧客への商品及び製品の販売

海外にて、複数の設備を組み合わせて稼働する設備の一部を受注する案件において、当社納入設備の機能確認が完了していても、設備全体の稼働確認が完了するまで収益を認識しないこととしておりましたが、当社納入設備の機能確認が完了した時点で収益を認識することとしております。

当第3四半期連結累計期間には該当する取引がなかったため、損益に与える影響はありません。

・有償受給取引

顧客に実質的に買い戻す義務が生じており、当社に支配が移転していないと判断される有償受給材の期末棚卸高について、従来は流動資産の「商品及び製品」「原材料及び貯蔵品」に含めて表示しておりましたが、「その他」に含めて表示しております。

この結果、流動資産の「その他」が42,222千円増加、「商品及び製品」が16,558千円減少、「原材料及び貯蔵品」が25,664千円減少しております。

・有償支給取引

従来は、有償支給した支給品について棚卸資産の消滅を認識しておりましたが、当社が実質的に買い戻し義務を負っていると判断される有償支給取引について、棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について有償支給取引に係る負債を認識しております。

この結果、流動資産の「原材料及び貯蔵品」が13,786千円、流動負債の「その他」が13,786千円それぞれ増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	32,470,684	3,279,855	2,903,847	4,939,185	43,593,573	388,067	43,981,641
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,439,095	381,566	44,339	768,793	5,633,795	66,646	5,700,442
計	36,909,779	3,661,422	2,948,187	5,707,979	49,227,369	454,714	49,682,083
セグメント利益	1,796,867	87,028	309,256	545,336	2,738,488	57,636	2,796,124

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	2,796,124
セグメント間取引消去	103,001
未実現利益の調整	△75,674
四半期連結損益計算書の営業利益	2,823,452

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	36,212,082	4,124,095	3,205,351	11,338,685	54,880,215	335,612	55,215,827
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,805,727	676,508	102,307	1,136,691	7,721,235	58,845	7,780,080
計	42,017,809	4,800,604	3,307,659	12,475,377	62,601,450	394,457	62,995,907
セグメント利益	2,548,413	258,407	382,972	1,430,218	4,620,012	29,618	4,649,630

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	4,649,630
セグメント間取引消去	△71,456
未実現利益の調整	△33,874
四半期連結損益計算書の営業利益	4,544,298

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計年期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に変更しております。

当該変更による売上高およびセグメント利益に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
市場分野別							
自動車・自動車部品	25,065,051	3,726,087	2,026,538	8,902,481	39,720,159	214,105	39,934,265
電気機器	4,984,277	67,093	292,064	700,709	6,044,145	28,157	6,072,302
機械	1,202,451	141,831	36,471	677,097	2,057,851	12,814	2,070,666
商業	1,171,704	74,640	184,122	434,592	1,865,059	79,115	1,944,175
石油・化学	1,367,036	7,176	34,888	58,068	1,467,169	—	1,467,169
ゴム	299,946	12	430,840	22,183	752,982	—	752,982
金属製品	480,531	—	189,478	2,513	672,523	31	672,554
その他	1,641,082	107,252	10,947	541,039	2,300,323	1,387	2,301,710
顧客との契約から 生じる収益	36,212,082	4,124,095	3,205,351	11,338,685	54,880,215	335,612	55,215,827
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	36,212,082	4,124,095	3,205,351	11,338,685	54,880,215	335,612	55,215,827

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。